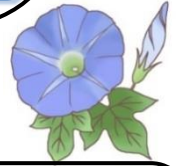




# まなびや

# 東市ケ尾



Chat GPT 使用に関しては、文科省がガイドラインを作成中とのこと。そちらに従って教育現場では適切に活用してまいります。

## Chat GPT からの挑戦状

校長 霜田 恵子

6年生の日光修学旅行や5年生の御殿場宿泊体験学習が実施され、マスクを取って部屋でおしゃべりしたりお風呂に一緒に入ったり、向かい合って会食したり…心から楽しむ子どもたちの姿が見られました。また、全学年による水泳学習も行われております。プールから冷たいシャワーを浴びる子どもたちの大きな声が聞こえてくると、これが小学校の本来の風景だと実感します。まさに、子どもらしい笑顔があふれています。

さて、先日開催された市ケ尾中学校ブロック学校運営協議会で『笑顔と挨拶あふれる子ども』を通して考える」というテーマに沿って委員の皆様と協議を行いました。市ケ尾の街が挨拶であふれる街になったら素敵だなあと思いながら熱心に語り合いました。

「挨拶は大切」と子どものころから教えられ、教師となってからもことあるごとに「挨拶しよう。」と子どもたちに伝えている私たちですが、これをテーマに改めて考えてみると、素朴な疑問がわいてきます。「挨拶はなぜ大切なのだろう。」「(それほど親しくない人に対し)こちらが複数にいるときに挨拶するのは平気なのに、自分が一人にいるときは、妙に緊張するのはなぜだろう。」「こちらが挨拶しても返事が返ってこないのはなぜだろう。」等々です。

そこで、今話題の Chat GPT に相談？したら (擬人化です) 「…挨拶が、人と人とのつながりを作ります。そして、相手に優しさや尊重を示すことで、心にも印象を残すことができます。私たちがこのような挨拶をすることで、相手に好意を与える反面自分自身にとっても良い影響を与えます。例えば、挨拶をすることで自信や自尊心が高まることがあります。また、挨拶をすることで元気やる気が出て、その日一日にポジティブな影響を与えることができます。学校でも挨拶はとても大切です。学校はたくさんの人が集まる場所です。そのため、学校で挨拶をすることで自分自身の身の回りの人と自然と関わることができます。そして、学校の中でも共通の目的や価値観を持った仲間たちが、心の拠り所となって支え合い、一緒に成長していくことができます。…」この後、挨拶をする際の注意点や「挨拶の一夜漬け」はだめで習慣化を勧めるという文章を作ってきました。つまり、「挨拶は人と人とのつながりをつくるために重要。」とまとめてきたわけですね。

でも、この文章、わかるようなわからないような、あまり心に響かないような…。「心が大切」と AI に説教される違和感があるというか…。「そんなくどい理由を言われなくても、私たちは気持ちのよい挨拶を自然にしますよ!」という気分です。結局私は、AI に正論を教えられなくても、理屈抜きに「挨拶しないと気持ちが悪い」くらいの習慣形成ができればいいなと考えました。そして、たとえまとまりよく書けなくて拙い文章でも、自分の中から湧き出る言葉で伝えるほうが、人との本物のつながりを作るし、人と響き合えるはずと気付いてしまいました。勝手に相談しておきながら、ちょっと反抗したい気持ちになってしまい、なぜか「Chat GPT からの挑戦状」を受け取った気分なのです。

保護者の皆様、地域の皆様、そして児童の皆さん、市ケ尾の街を挨拶でいっぱいにしましょう!!